

# 消エタサラコール

400

〈外皮用殺菌消毒剤〉

## \*【主要文献】

1) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

## \*\*【文献請求先】

サラヤ株式会社 学術部  
〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5  
TEL. (06)4706-3938

300

## ゴミ75%削減 減容ボトル

使用後手で簡単に折りたたみ  
ゴミの減容化にお役立てください。

200

- ① ボトルの真ん中を両手で持ち、つぶす。
- ② しっかりと押さえ込んだ後、空気が入らないようにキャップをしめ、廃棄する。



100

製造番号：底面記載  
使用期限：底面記載

容器 ボトル：プラ(PE)  
材質 キップ：プラ(PP)  
ラベル：プラ(PE)

# 消エタサラコール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

\*\*2008年 9月改訂 (第4版)  
\*2007年12月改訂 (第3版)

日本標準商品分類番号 | 872615

承認番号 21700AMZ00710000  
薬価収載 2006.7  
販売開始 2006.1

貯法：保存条件 遮光して、火気を避けて保存する。  
容器 気密容器

500ml

## 【禁忌】

(次の部位には使用しないこと)  
損傷皮膚及び粘膜(刺激作用があるため)

## 【組成・性状】

エタノール(C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>O)76.9~81.4vol%  
を含有する。添加物としてイソプロパノールを含有する。無色澄明の液である。



引火性

火気厳禁

危険物第4類  
アルコール類(エタノール)  
水溶性・危険等級II  
飲用不可

## サラヤ株式会社

大阪市東住吉区湯里2-2-8  
TEL.06-6797-2525

# 消エタサラコール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

## 【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒

## 【用法・用量】

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

## 【使用上の注意】

- 重要な基本的注意  
(1) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。(2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。  
(1) 過敏症：発疹等の過敏症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。  
(2) 皮膚：刺激症状(頻度不明)があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。
- 臨床検査結果に及ぼす影響  
注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。
- 適用上の注意  
(1) 投与経路：外用にのみ使用すること。  
(2) 使用時：1) 同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので、注意すること。2) 血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等を用いる場合には、十分に洗い流してから使用すること。3) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長

# 消エタサラコール

〈外皮用殺菌消毒剤〉

時間浸漬しないこと。4) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。5) 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。6) 衣類等につくと変色、脱色することがあるので注意すること。7) 開封時、容器の肩部又は底部を持ち、液が飛び出さないようにキャップを開けること。

## 【薬効薬理】

本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

## \*【取扱い上の注意】

〈安定性試験〉<sup>1)</sup> 加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。



〈調剤包装単位用〉

MADE IN JAPAN

B